



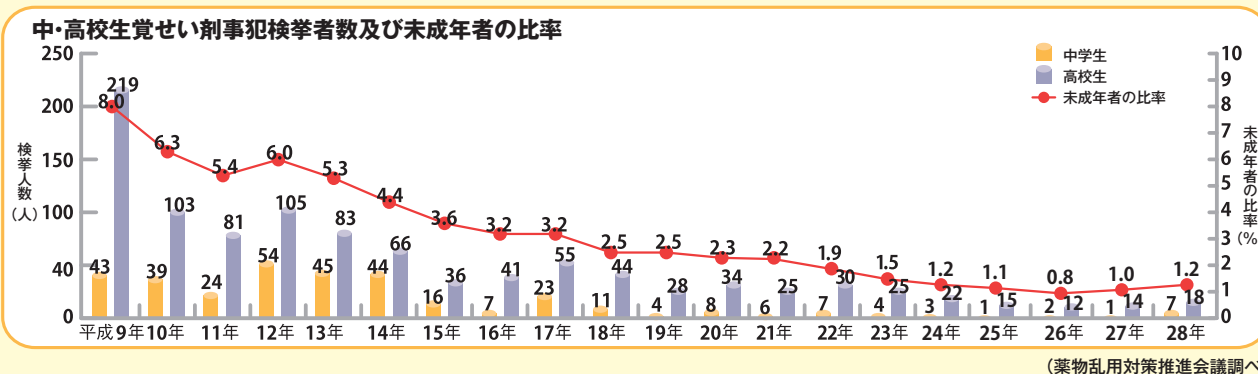
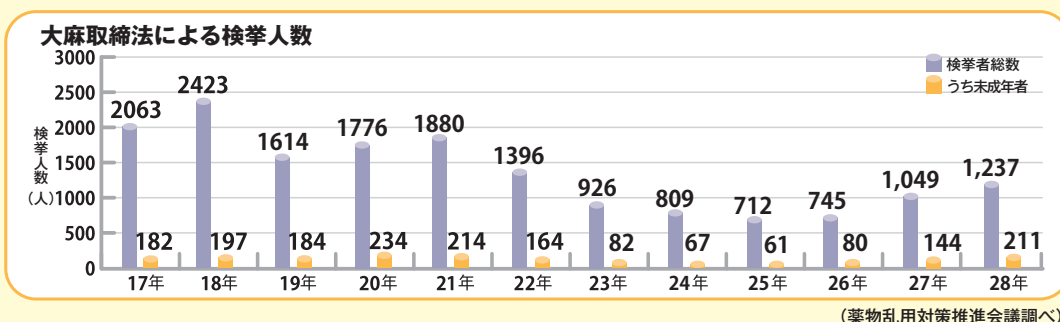
第4章 薬物乱用と健康

薬物乱用って どういうことだろう？



日本における薬物乱用の実態を知ろう！

薬物乱用とは、覚せい剤などの禁止されている薬物やシンナーなどの化学物質を不正な目的や方法で使用することです。また、医薬品の本来の治療目的からはずれた用法、用量での使用も薬物乱用です。一度だけでも「乱用」と言い、犯罪です。



- 近年、青少年による覚せい剤及び大麻事犯の検挙者数は減少傾向にあります。しかし、平成28年中の大麻事犯の検挙者数の38%が20歳代であり、依然として若者を中心に乱用されている状況がうかがわれます。
- 社会問題となっている危険ドラッグは、「ハーブ」、「お香」、「バスソルト」など用途を偽装したり、「合法ドラッグ」、「合法ハーブ」などと称したりして販売されていますが、何の成分がどれだけ入っているか、使用した際に何が起これるか分かりません。危険ドラッグは、覚せい剤や大麻と同等かそれ以上に恐ろしい薬物であり、使用すると死に至る危険性があるものです。

また、危険ドラッグの使用について、「個人の自由だ」、「1回くらいなら構わない」という声もありますが、危険ドラッグを使用した者が、他人を巻き込み、死亡者や重傷者を出す交通事故や事件を起こすなど、第三者に危害を加えることもあり、絶対に使うべきではありません。

さらに、危険ドラッグを使ったり、持っていたりするだけでも罰則が科せられるように取締りが強化されています。



乱用される薬物は、いずれもとても危険な薬物です！



乱用される薬物を見てみよう！

●薬物は大切な脳の働きを変えます。 ●依存という“やめられない”状態になります。

●覚せい剤

中枢神経が興奮し、気分が高揚して、疲労がとれたように感じますが、薬がきれるとその反動で、強い疲労感や倦怠感、脱力感が襲ってきます。繰り返し使用していると中枢神経に異常をきたし、幻覚や妄想を伴う覚せい剤精神病になります。大量に摂取すると死んでしまうこともあります。



●シンナー等有機溶剤

急激に酩酊状態となり、大量に摂取すると、呼吸困難に陥り死に至ります。情緒不安定、無気力となり、幻覚や妄想が現れて、有機溶剤精神病になります。



●大麻(マリファナ)

感覚が異常になり、幻覚や妄想が現れます。乱用を続けていると無気力になり大麻精神病になります。生殖機能の低下、月経異常を引き起こすとの報告もあります。

●MDMA

覚せい剤とほとんど同じ作用とLSDのような幻覚作用があります。急性中毒で、死んでしまうことがあります。



●ヘロイン

落ち着いたような気分を味わいますが、薬がきれると嘔吐や痙攣などの激しい退薬症状(離脱症状)に襲われます。大量に摂取すると、呼吸困難に陥り、死んでしまうこともあります。



●危険ドラッグ

覚せい剤、麻薬、大麻等と同様の危険性が指摘されている薬物。



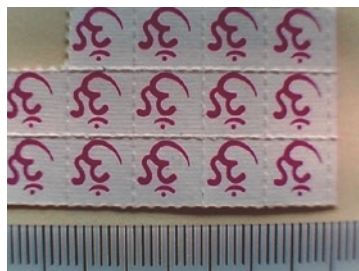
●コカイン

覚せい剤とほとんど同じ作用を示しますが、効果が迅速で強烈です。大量摂取すると痙攣発作が繰り返し起こり、死んでしまうこともあります。幻覚や妄想が現れて、コカイン精神病になります。



●LSD

幻覚が現れます。色彩感覚が麻痺し、空間が歪んだような感覚に襲われます。転落などの事故死の原因になります。



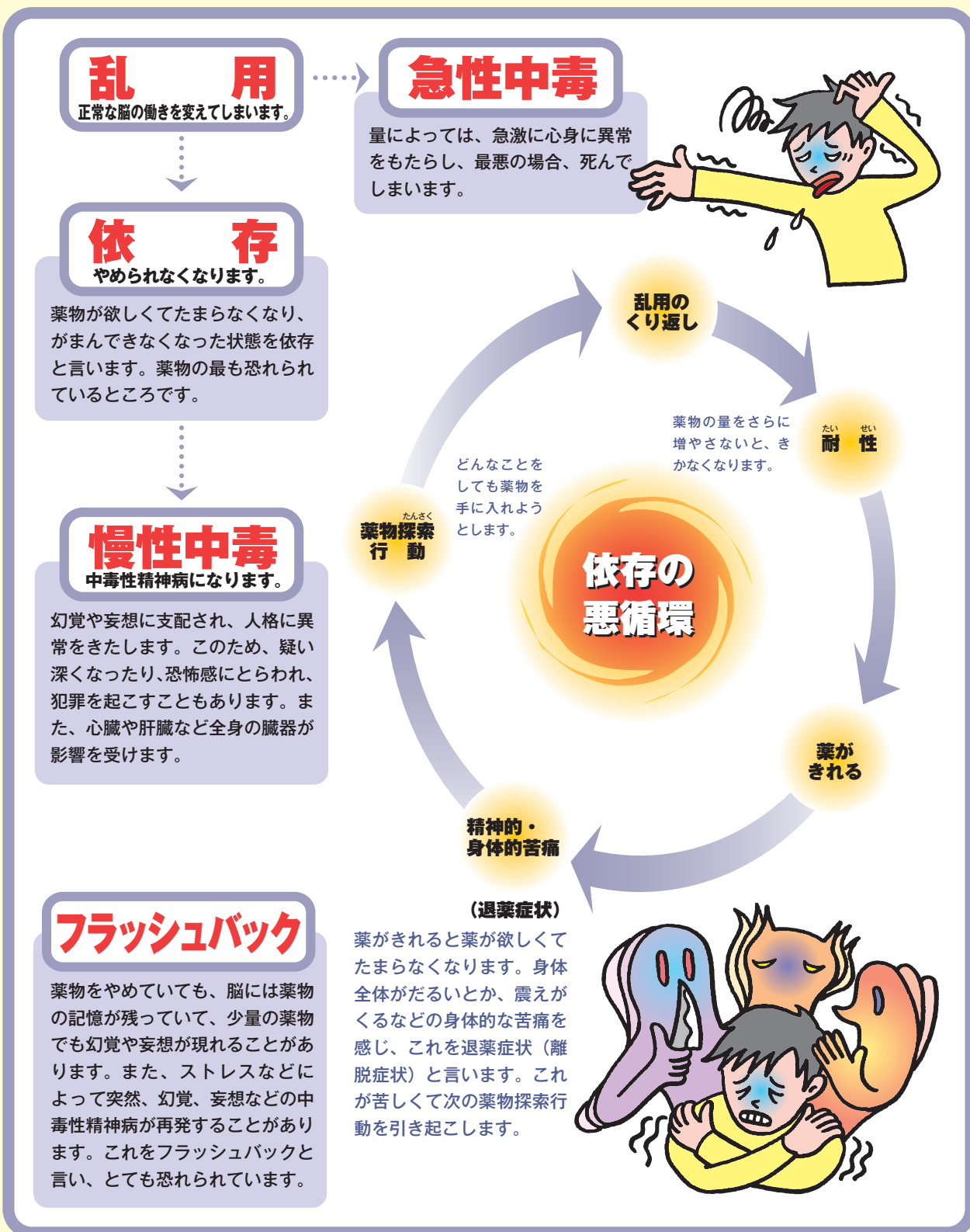
薬物は別の呼び名(隠語)で呼ばれている場合があります。

- 覚せい剤
(スピード、エス、シャブ)
- 大麻
(チョコ、ハツパ、ハッシシュ)
- シンナー
(アンバン、ジュントロ)
- MDMA
(エクスタシー、エックス、バツ)

(写真：関東信越厚生局麻薬取締部 近畿厚生局麻薬取締部)



薬物乱用の悪循環のおそろしさを知ろう!





薬物乱用によって こんなことにも!

薬物乱用の社会的影響

家庭問題

- ①生活の乱れ
- ②家庭内暴力、家庭の崩壊など

友人問題

- ①けんかを起こしやすくなり、友人、知人から離れ、孤立
- ②薬物乱用仲間の形成

学校での問題

- ①欠席、学習不適応
- ②校内暴力
- ③他の生徒への薬物乱用の拡がり

犯罪

- ①薬物を手に入れるために起こす恐喝や窃盗などの事件
- ②乱用した薬物の作用に基づく凶悪な犯罪
- ③暴力団の資金源となり、健全な社会を阻害

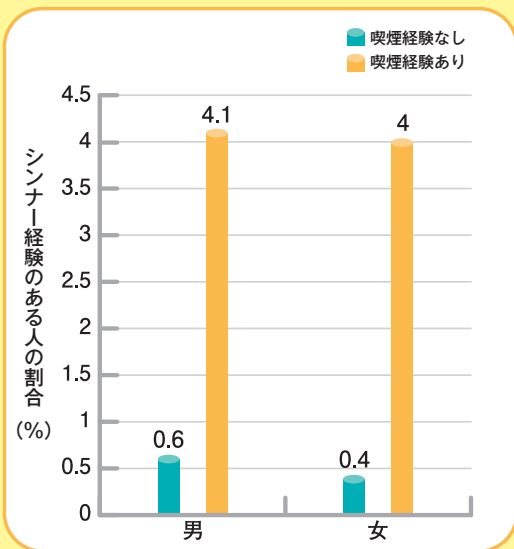


column

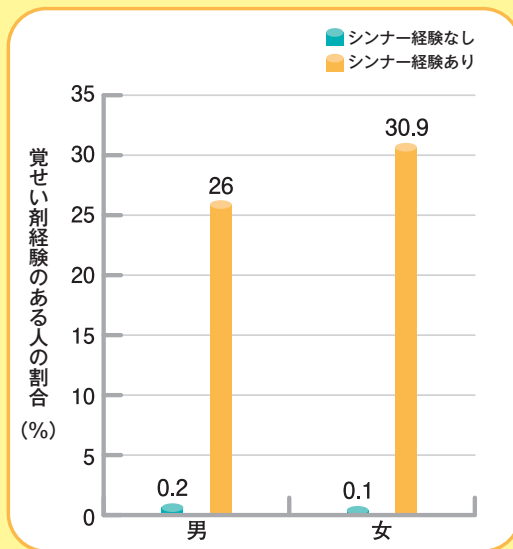
未成年者の喫煙、飲酒はゲイトウェイ

未成年者の薬物乱用は、常習喫煙者や飲酒者がほとんどであるため、また、喫煙や飲酒行動が薬物乱用より早い時期に起きているため、たばこやアルコールは、ゲイトウェイドラッグと呼ばれています。

喫煙経験とシンナー遊び経験の関係



シンナー遊び経験と覚せい剤乱用経験の関係



(和田清ら2006)



薬物乱用に対する社会的対策を知ろう！

薬物乱用は法律で厳しく取り締まられています。



見たことがありますか？

日本では、政府全体で薬物乱用問題に取り組むため、平成25年度からは「第四次薬物乱用防止五か年戦略」を立ち上げて取り組んでいます。



(麻薬・覚せい剤乱用防止広報啓発キャラバンカー)



(麻薬探知犬)



(平成29年度 文部科学大臣賞 受賞作品)



薬物乱用 Q & A

Q1 一度だけなら大丈夫って聞きましたが……？

A **絶対にそんなことはありません。**
一度でも乱用すると、依存症になってしまう危険があります。一度でも死んでしまうこともあります。

Q4 シンナーってどんな害があるのですか？

A **脳や神経はシンナーの害を受けやすく、正常な働きができなくなります。**

大量に吸うと死ぬこともあります。依存症になりやすく、乱用を続けると脳細胞を溶かし、「脳の萎縮」が起きます。破壊された脳細胞は一生回復しません。

Q2 覚せい剤はダイエットや勉強に良いって本当ですか？

A **絶対にそんなことはありません。**
覚せい剤は、一時的に心身をだまして食欲をなくすだけで、作用がなくなると異常に食欲が強くなります。覚せい剤を乱用すると、依存症や中毒になり、心身に悪い影響を与えます。もちろん疲れがとれたり、勉強に良いなどということは、絶対にありません。

Q5 薬物をすすめられたらどう対処すれば良いですか？

A **きっぱり『いやだ』と言いましょ。**
「友だちに嫌われるから」と思っても、はっきり『NO!』と言うべきです。友だちからどう思われても、自分の心身、自分の一生を大切にしましょう。危険な場所・場面に近づかない、危険を感じたら立ち去ることが大切です。少しでも危ないと思ったら、“きっぱり断る”“逃げる” 勇気をもちましょ。

Q3 一度依存症になるともう治らないのですか？

A **一生、やめ続けなければもとの戻ってしまいます。**
依存症に治るという言葉はありません。何年やめていても再び乱用してしまえばもとの状態に戻ってしまいます。一生やめ続けることが必要です。

Q6 薬物の問題で助けて欲しいときは？

A **担任や養護教諭、家族、警察などに相談しましょ。**
薬物を乱用している友だちのことや、薬物をすすめられたりした場合は、一人で悩まず、きちんと助けを求めることが大事です。まわりの信頼できる大人に相談しましょ。

もっと詳しく知りたい人は、下のホームページを見てみましょう！
公益財団法人 日本学校保健会 <http://www.hokenkai.or.jp/3/3-1/3-1.html>